

特集・「子どもの権利条約」と新潟県の教育

ボクらにだって

言い分がある

― 校則・教師、高三生徒の発言から ―

地区に考えているところです。」と返事を掲載しました。(

しよめいはお父さんがぎかいかいをもって
いってくれました。わたしがこうとうぶ
がなくて、どこかにいくようなことがな
いように、はやくこうとうぶをつくって
ください。おねがいします。(この投書
に、金子知事も、「新潟市を含め、下越

私たち、障害をもつ子の親の願い、子
の願いの大きな支え、大きな武器として、
「子どもの権利条約」は、生きています。

根をはれ、子どもの権利条約、
花ひらけ、十五の春、

(新潟県障害児の後期中等教育の
保障をすすめる会代表)

校則 拘束 なぜ？

私の(出身)中学は、校則がとともき
びしかった。例えば髪型だと、前髪はマ
ユ上と決められていた。けんさの時なん

か、天然パーマの子は、のばされてマユ
上で切られちゃって、自然にしているとカッ
バみたいだった。女の子なのにすこく
かわいそう。どうしてこんなにまでする
のかなあと、不思議だった。

先生なんて、前髪流してるとか長くて
もしばらなかつたりしている。生徒にお
しつける前に、先生だって見本になるよ
うなことをしてほしい。(女)

くつ下の長さを決められたときはびっ

学校の規則はなぜ法律よりも厳しくな

るのか。国の法律は守っていければ罰せられることがないのに、学校の規則はそれ以上のものになっている。

例えば、(バイクの)免許をとってはいけないとか、問題行動をおこしたら停学だとか、それは学校側(の都合)だけのことだと思う。法に反する行為をした場合、それは法によって裁かれるだけでいいと思う。(男)

◇ 同じ公立高校なのに原付の免許を取っていいところと悪いところがある。十六歳なのに免許取れないのなら、十八歳になるまで免許の取れない法律をつくれればいい。

▼ 小学校の時は、私服で、くつ下だった自由だったのに、(中学生になったら)なんで「学生らしく」といって制服と白いくつ下にするのが不思議だ。高校の制服は自分で好きで選んだ学校だから、自分の学校に誇りをもって着ればいいけど、
「中学の制服」とくつ下は絶対変だ。生徒が学生らしくなければいけないなら、先生は先生らしくして欲しい。

街で、結構早い時間に、べろべろによつばらっていた先生が、学校に来るとくつ下をいちいち見て取り上げる。(女)

◇ 私は校則については、ある程度はあった方がいいと思います。でも髪型やくつ下などは個人にまかせた方がいいと思います。私が以前にいた学校(中学校)は校則が厳しい方で、私も先生に前髪を切られたことがあります。そういう行為を先生がすると、生徒が先生のことをよく思わないのは当然だと思うし、その学校では、生徒がよく、先生のことをなぐったりしていました。そして、それを見て生徒たちは「ざまーみろ」くらいにしか思いませんでした。

生徒の個性をのばす教育とかよくいいますが、性格とか、髪型が個性だと思いません。これを校則でみんな一緒のようにしてしまえば、個性をのばすところではないので、そういう校則ならない方が絶対がいいと思います。まして先生が生徒に暴力をふるうこと、生徒にとってそれは、うらみでしかなくなると思うので、

それも絶対にやめてほしいです。(女)

◇ 雑誌に海外の高校生のことがたまに出たりするけど、とてもうらやましいと思う。たぶん、こんなに厳しい校則があるのは日本だけだと思う。

外国の高校には制服はないし、車で登校してっていうことも聞いたことがある。アクセサリーだってつけているし、ほとんどの子が小さい頃からピアスをしている。そこまで自由にしてるのに、学校では日本の子よりも一生懸命に勉強してるし、中学生くらいでもかなりしっかりしている。

前に、私たちの学校に来た留学生の話で、日本の高校生は子供っぽいというのがあって少しショックだった。(外国の学校に)校則があるのかどうかはわからないけど、規則のない海外の高校生が大人数っぽく、規則のある日本の子供っぽいというの、くとしてはだめだとか、退学だとかいわれると、よけいそういう規則で禁止されることをしたくなるんだと思う。先生も、それぞれの生徒の性

格や特徴をわかってないと思う。みんな同じようにさせたりするから、将来これをやりたいと思って勉強をしている学生が少なくなっただと思ふ。(女)

教師の不信!

ある英語の時間、私は家で辞書を引きいっしょうけんめい訳していった。(その時間)やっぱりかかってしまった。しかし、私は調べてあったので調べた通りのことを言ったら、その先生は「あんまりいい訳し方すぎて、まるで何かの本入ガイドブック√をみて訳したようですね。フフフ…」といった感じで、本当に私が、和訳の書いてある本を「丸うつし」したようなことを言われた。私はその時、最高に頭にきて、あまりのくやしさに涙が出てきてしまった。「この先生は生徒のことを信用していない。生徒のことを疑いながら授業をしている」というふうにな強く感じた。(女)

◇ ▼授業を受け持つてるにもかかわらず、

生徒の名前と顔が一致しないのはおかしい。どうやって成績つけてるんだといたい。テストだけなのか!

▼(ある教師が)できる生徒には手をかすが、できないやつはどンドン遅れると言ったのは許せない。教師たるものがこんな発言をしていいわけがない。

▼授業料はらってるんだから、もっと中身のある授業にしろ! ねているやつも悪いが、大勢ねていて何とも思わないのか! 「(ただ)生徒に教えてればそれでいい」と思われてもおかしくないやつもいる。熱くなれ! と言いたい。(男)

◇ ▼A先生は、朝、私がお早うございませ」と挨拶しても、必ずムシする。挨拶を返してきてくれたことは一度もない。生徒が先生に挨拶をすることは当たり前のことだが、こっちは気持ちよく挨拶しているのに、「それが当然!」みたいな態度で、しかもムシされると腹が立つ。

▼中学の頃の担任の先生はものすごい熱血先生で、私の大好きな先生だったのだ。が、この先生は、心から生徒一人一人を

信用してくれ、決して疑わなかった。例えば私のクラスメイトであったH君が、お昼休みに「銀行へ行く」といって学校を出たきり(なかなか)戻らなかつたのだが、他の生徒が「ぜったいいうそだ!。遊んでるんだぜ!」と先生に言っても、先生は「いいや、俺は彼を信じるぞ」と、はっきりとクラスの(みんなの)前で言い切った。あの言葉は、今でも深く心に残っている。(女)

◇ 生徒は先生によって科目の好き嫌いを左右されたりすることを、先生たちはわかっているんだらうか。私は、英語の授業を(受け)初めて六年目でやっと、初めて(英語が)好きになったし、好きだった国語は最近大嫌いになった。テストや受験のための勉強はもうやりたくない。(女)

※この稿は、新潟市内の某高校三年生のみなさんが書いてくれた、教師や校則についての率直な意見です。

なお、文中○内は編集部注。